

1 企画展

小倉遊亀展

- 会期 平成19年4月28日(土)～6月3日(日)
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館  
協力：滋賀県立近代美術館
- ポスター B 2
- チラシ A 4
- 図録 28.0×22.5cm 120頁
- 入館者数 22,857人
- 観覧料 一般600(500)円／高大生400(300)円／  
小中生200(150)円  
※( )内は20名以上の団体料金
- 出品点数 日本画68点、スケッチ・陶磁器等資料
- 内容解説  
小倉遊亀(1895-2000)は滋賀県大津市で生まれた。大正6年(1917)に奈良女子高等師範学校(現・奈良女子大学)を卒業し、教鞭を執りながら制作に励み、大正9年(1920)には安田靫彦に入門して本格的に日本画家の道を歩み始めた。大正15年(1926)に再興第13回院展に初入選、昭和7年(1932)には女性として初めて日本美術院同人に推挙され、昭和11年(1936)には教職を辞して画業に専念することになる。その後、画壇で着実に地歩を固め、昭和55年(1980)には文化勲章を受章、平成2年(1990)には日本美術院の理事長に就任するなど、日本画壇を代表する画家の一人として活躍した。  
遊亀は人物画や静物画を得意とした。その絵画世界は明快な構図や大胆なデフォルメなど造形的な斬新さに溢れている一方で、身近なものへの温かい眼差しや生命に対する慈しみの念に満ちている。  
本展は、初期から晩年までの代表作68点の他、スケッチや静物画のモチーフとなった陶磁器、遺品などの資料も展示し、遊亀の80年におよぶ画業の全貌を回顧しながら、その多彩な魅力を紹介した。

- 担当 澤渡麻里(学芸員)
- 関連事業  
ギャラリートーク  
担当 澤渡麻里(学芸員)  
日時 5月12日(土) 午後1時30分～2時30分  
5月20日(日) 午後1時30分～2時30分  
会場 展示室A・B・C
- 関連記事  
・29日から・天心記念五浦美術館 日本画「小倉遊亀」展  
平成19年4月19日(木)【よみうりタウンニュース】  
・80年の画業を回顧 28日から「小倉遊亀展」  
平成19年4月19日(木)【常陽新聞】  
・小倉遊亀展 平成19年4月25日(水)【朝日新聞】  
・小倉遊亀展 平成19年4月25日(水)【茨城朝日】  
・小倉遊亀展 平成19年4月27日(金)【読売新聞】  
・小倉遊亀展 平成19年4月27日(金)【毎日新聞】  
・小倉遊亀展 モダン、ぬくもり漂う 6月3日まで、県天心記念五浦美術館 平成19年4月30日(月)【茨城新聞】  
・代表作70点を展示 来月3日まで 小倉遊亀展 描くことは、生きること 県天心記念五浦美術館  
平成19年5月2日(水)【毎日新聞】  
・小倉遊亀の画業を回顧 代表作など70点を展示 県天心記念五浦美術館企画展  
平成19年5月3日(木)【朝日新聞】  
・茨城県天心記念五浦美術館「小倉遊亀～描くことは、生きること～」 平成19年5月3日(木)【まいいばらき】  
・小倉遊亀展開催  
平成19年5月9日(水)【デイリースポーツ】  
・小倉遊亀の世界 県天心記念五浦美術館企画展から ◎1 「浴女 その一」 魅力ある湯のゆらめき 県天心記念五浦美術館学芸員 澤渡麻里  
平成19年5月10日(木)【茨城新聞】  
・小倉遊亀展 平成19年5月11日(金)【日本経済新聞】  
・小倉遊亀の世界 県天心記念五浦美術館企画展から ◎2 「O夫人坐像」 モデルの確かな存在感 県天心記念五浦美術館学芸員 澤渡麻里  
平成19年5月11日(金)【茨城新聞】



ポスター B 2



図録



チラシ A 4

- ・小倉遊亀の世界 県天心記念五浦美術館企画展から ◎3  
「良夜」 明暗で月の存在を暗示 県天心記念五浦美術館  
学芸員 澤渡麻里 平成19年5月12日(土)【茨城新聞】
- ・小倉遊亀の世界 県天心記念五浦美術館企画展から ◎4  
「コーちゃんの休日」 プライベート感漂う姿 県天心記  
念五浦美術館学芸員 澤渡麻里  
平成19年5月14日(月)【茨城新聞】
- ・小倉遊亀の世界 県天心記念五浦美術館企画展から ◎5  
「姉妹」 無駄なものそぎ落とし 県天心記念五浦美術館  
学芸員 澤渡麻里 平成19年5月15日(火)【茨城新聞】

- ・小倉遊亀の世界 県天心記念五浦美術館企画展から ◎6  
「半夏生」 繊細な叙情を醸し出す 県天心記念五浦美術  
館学芸員 澤渡麻里 平成19年5月17日(木)【茨城新聞】
- 関連放送
- ・おもしろミュージアム  
平成19年5月9日(金)【FMいわき】
- ・スクーピーレポート  
平成19年5月11日(金)【茨城放送】
- ・新日曜美術館アートシーン  
平成19年5月20日(日)【NHK教育テレビ】

## ●出品作品一覧

No.	作品名	和暦	西暦	材質・技法・形状	寸法(たて×よこ)cm	出品歴	所蔵先
1	童女入浴	大正14年	1925	絹本彩色・額装	97×70	革丙会革新第1回展	滋賀県立近代美術館
2	首夏	昭和3年	1928	絹本彩色・屏風二曲一隻	114.5×157.3	再興第15回院展	滋賀県立近代美術館
3	胡瓜	昭和3年頃	c.1928	絹本彩色・軸装	57×70.8		滋賀県立近代美術館
4	虫籠	昭和6年	1931	絹本彩色・衝立	98(径)		社団法人 佐保会
5	苺	昭和7年	1932	紙本彩色・屏風四曲一隻	142.5×212.5	再興第19回院展	国立大学法人奈良女子大学
6	静思	昭和11年	1936	紙本彩色・屏風二曲一隻	151.4×172	改組第1回帝国美術院展覧会	
7	胡瓜	昭和11年	1936	紙本彩色・額装	76.8×46.7	奥村土牛・溝上遊亀・徳岡神 泉・山口華楊新作画展	
8	晴日	昭和12年	1937	絹本彩色・額装	77.2×94.2	再興第24回院展	
9	童女	昭和13年	1938	絹本彩色・額装	71×81	第4回九阜会展	株式会社滋賀銀行
10	浴女 その一	昭和13年	1938	紙本彩色・額装	210×176	再興第25回院展	東京国立近代美術館
11	魚籃観音	昭和15年頃	c.1940	絹本彩色・額装	129×36.2		
12	観世音菩薩	昭和16年	1941	絹本彩色・額装	170.5×133.5	再興第28回院展	滋賀県立近代美術館
13	磨針峠	昭和22年	1947	紙本彩色・屏風二曲一双	右168×178,左 168×176	再興第32回院展	滋賀県立近代美術館
14	婦女	昭和23年	1948	絹本彩色・額装	176×145	再興第33回院展	
15	花屑	昭和25年	1950	紙本彩色・額装	55×72	再興第35回院展	滋賀県立近代美術館
16	娘	昭和26年	1951	紙本彩色・額装	137×109.7	再興第36回院展	滋賀県立近代美術館
17	美しき朝	昭和27年	1952	紙本彩色・額装	102.3×114.3	再興第37回院展	
18	「婦人之友」表紙	昭和27年	1952	紙本彩色			婦人之友社
18-1	昭和27年1月号《ほうれん草と梅》				21.4×15.3		婦人之友社
18-2	昭和27年2月号《さやえんどう》				20.8×15		婦人之友社
18-3	昭和27年3月号《シクラメン》				21×15		婦人之友社
18-4	昭和27年4月号《山吹》				21.5×17.8		婦人之友社
18-5	昭和27年5月号《茄子トマト》				21.5×15		婦人之友社
18-6	昭和27年6月号《花菖蒲》				21.5×15.2		婦人之友社
18-7	昭和27年7月号《ききょう》				20.7×15		婦人之友社
18-8	昭和27年8月号《百日草》				21.8×15.3		婦人之友社
18-9	昭和27年9月号《秋の果物》				21.3×15.2		婦人之友社
18-10	昭和27年10月号《りんどう》				21.8×15.2		婦人之友社
18-11	昭和27年11月号《山茶花》				21.5×15.6		婦人之友社
18-12	昭和27年12月号《枯葉》				21.2×15		婦人之友社
19	O夫人坐像	昭和28年	1953	紙本彩色・額装	129×104	再興第38回院展	東京国立近代美術館
20	佳器	昭和31年	1956	紙本彩色・額装	68.8×47.8	第3回鼎会展	滋賀県立近代美術館
21	良夜	昭和32年	1957	紙本彩色・額装	140×97	再興第42回院展	横浜美術館
22	八重桜	昭和33年	1958	紙本彩色・額装	64.5×43.2	第3回現代日本美術展	
23	家族達	昭和33年	1958	紙本彩色・額装	204×153.6	再興第43回院展	滋賀県立近代美術館
24	葡萄	昭和34年	1959	紙本彩色・額装	61.5×45.7	第6回鼎会展	滋賀県立近代美術館
25	コーちゃんの休日	昭和35年	1960	紙本彩色・額装	93×163	再興第45回院展	東京都現代美術館
26	椿	昭和35年	1960	紙本彩色・額装	50×68.5	第5回雨晴会	
27	山百合	昭和35年	1960	紙本彩色・額装	56.5×70		リベラ株式会社
28	秋果	昭和35年頃	c.1960	紙本彩色・額装	27.2×41.1		
29	静物	昭和35年頃	c.1960	紙本彩色・額装	35.2×53.4		

No.	作品名	和暦	西暦	材質・技法・形状	寸法(たて×よこ)cm	出品歴	所蔵先
30	娘	昭和36年	1961	紙本彩色・額装	80×59	第8回鼎会展	
31	少女	昭和38年	1963	紙本彩色・額装	120.5×84	再興第48回院展	滋賀県立近代美術館
32	兄妹	昭和39年	1964	紙本彩色・額装	151×151	再興第49回院展	滋賀県立近代美術館
33	月	昭和40年	1965	板(ホモゲンホルツ) 彩色・衝立	151×176	再興第50回院展	滋賀県立近代美術館
34	明果	昭和40年	1965	紙本彩色・額装	43×58		
35	山吹	昭和40年	1965	紙本彩色・軸装	41.8×53.6		敦井美術館(新潟市)
36	梅と赤絵	昭和40年頃	c.1965	紙本彩色・額装	38×53		
37	菩薩	昭和42年	1967	紙本彩色・額装	171.7×120.4	再興第52回院展	糸魚川市
38	椿花	昭和44年	1969	紙本彩色・額装	38.2×55.3	第24回日本美術院春季展	高島屋史料館
39	舞妓	昭和44年	1969	紙本彩色・額装	158×133	再興第54回院展	京都国立近代美術館
40	姉妹	昭和45年	1970	紙本彩色・額装	139×144	再興第55回院展	滋賀県立近代美術館
41	紅梅白壺	昭和46年	1971	紙本彩色・額装	50.8×43.2	第26回春の院展	滋賀県立近代美術館
42	赤絵	昭和46年	1971	紙本彩色・額装	27×41		
43	あじさい	昭和47年	1972	紙本彩色・額装	51×42		
44	聴く	昭和49年	1974	紙本彩色・額装	145×113.2	再興第59回院展	滋賀県立近代美術館
45	献花	昭和51年	1976	紙本彩色・額装	65.4×50.2	第31回春の院展	
46	青嚮	昭和51年	1976	紙本彩色・額装	165×92	再興第61回院展	滋賀県立近代美術館
47	淡紅梅	昭和56年	1981	紙本彩色・額装	73.2×50.2	第36回春の院展	
48	おもいのたま	昭和56年	1981	紙本彩色・額装	120×79	再興第66回院展	薬師寺
49	盛られた花	昭和57年	1982	紙本彩色・額装	45.5×53	白鳳会展	学校法人駿河台学園
50	大津皇子	昭和57年	1982	紙本彩色・額装	120×79	再興第67回院展	薬師寺
51	つかのま	昭和58年	1983	紙本彩色・額装	55.2×46.2	第38回春の院展	
52	天武天皇	昭和58年	1983	紙本彩色・額装	129×86	再興第68回院展	薬師寺
53	並ぶ	昭和58年	1983	紙本彩色・額装	41×50	第23回浜奈寿会展	横浜美術館
54	爛漫(緞帳原画)	昭和59年	1984	紙本彩色・額装	29×70		国立大学法人奈良女子大学
55	牡丹	昭和59年	1984	紙本彩色・額装	53×46	第39回春の院展	神奈川県立近代美術館
56-1	花三題(脇)	昭和60年	1985	紙本彩色・額装	51×42	再興第70回院展	滋賀県立近代美術館
56-2	花三題(中)	昭和60年	1985	紙本彩色・額装	65×53	再興第70回院展	滋賀県立近代美術館
56-3	花三題(脇)	昭和60年	1985	紙本彩色・額装	51×42	再興第70回院展	滋賀県立近代美術館
57	無月紅梅	昭和61年	1986	紙本彩色・額装	42×50	第41回春の院展	
58	朝爽	昭和61年	1986	紙本彩色・額装	38×58		文化庁
59	智子ちゃん	昭和62年	1987	紙本彩色・額装	79.5×99	再興第72回院展	
60	春到	昭和62年	1987	紙本彩色・額装	38×46		株式会社滋賀銀行
61	花菖蒲	昭和62年	1987	紙本彩色・額装	39×46		
62	土器と紅梅	昭和63年	1988	紙本彩色・額装	55×46	第43回春の院展	
63	古陶と青柿	昭和63年	1988	紙本彩色・額装	51×42	再興第73回院展	滋賀県立近代美術館
64	黒い台の白桃	昭和63年	1988	紙本彩色・額装	51×42	再興第73回院展	滋賀県立近代美術館
65	古九谷とマンゴウ	昭和63年	1988	紙本彩色・額装	51×42	再興第73回院展	滋賀県立近代美術館
66	半夏生	平成2年	1990	紙本彩色・額装	42×51	再興第75回院展	滋賀県立近代美術館
67-1	椿三題 一枝	平成10年	1998	紙本彩色・額装	50×66	再興第83回院展	吉野石膏株式会社
67-2	椿三題 盛られた花	平成10年	1998	紙本彩色・額装	50×80	再興第83回院展	吉野石膏株式会社
67-3	椿三題 紅白	平成10年	1998	紙本彩色・額装	50×61	再興第83回院展	吉野石膏株式会社
68	盛花	平成12年	2000	紙本彩色・額装	53×72	再興第85回院展	滋賀県立近代美術館

## 千總コレクション 京の優雅 ～小袖と屏風～

- 会期 平成19年 7月28日(土)～9月2日(日)
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館／毎日新聞社  
特別協力：株式会社千總  
企画協力：京都文化博物館
- ポスター B 2
- チラシ A 4
- 図録 295×225mm 260頁  
編集：京都文化博物館学芸課  
発行：毎日新聞社
- 入館者数 18,060人
- 観覧料 一般600(500)円／高大生400(300)円／  
小中生200(150)円  
※( )内は20名以上の団体料金

- 出品点数 142点
- 内容解説

伝統ある老舗が今も多く存在する京都。弘治元年(1555)に創業した千總是、450年余の歴史を誇る京友禅の老舗である。はじめ法衣商を営んでいた千總が、友禅染の小袖を手掛けるようになったのは、江戸時代中頃といわれている。絵模様を自由に染められる友禅染の開発によって、小袖の文様表現は一層華やかなものとなった。明治以降も、千總是新しい材料や技法を取り入れる一方、京都画壇の重鎮たちに友禅の下絵を委嘱してデザインの刷新に取り組み、京友禅に新風を吹き込んでいく。

このような中、千總是優れた染色作品を創るための環境づくりとして、江戸時代から明治にかけての小袖や、京都を中心に活躍した画家たちの絵画を収集してきた。これらの作品は、老舗ならではの高い美意識を反映したものといえるだろう。

本展では、千總コレクションの中から、染めや刺繍を豪華に施した小袖や、円山応挙「保津川図屏風」(重要文化財)をはじめとする絵画の優品とともに、友禅染の見本裂や下

絵など142点を展示し、京都を舞台に花開いた、華やかで優雅な美の世界を堪能する機会とした。

- 担当 稲葉睦子(副主任学芸員)
- 関連事業
  - 千總資料館 泉要次郎氏によるギャラリートーク  
講師 泉要次郎(千總資料館資料室長)  
日時 7月28日(土) 午前11時～12時  
会場 展示室A・B・C
  - ギャラリートーク  
担当 稲葉睦子(副主任学芸員)  
日時 8月4日(土) 午後1時30分～2時30分  
8月19日(日) 午後1時30分～2時30分  
会場 展示室A・B・C
  - 体験コーナー「型染めを体験しよう」  
日時 7月28日(土)～9月2日(日)  
午前10時～午後4時  
会場 講座室

### ●関連記事

- ・「千總コレクション京の優雅」展開催  
7月19日(木)【毎日新聞】
- ・「千總コレクション 京の優雅～小袖と屏風～ 茨城県天心記念五浦美術館」7月19日(木)【日刊協同組合通信】
- ・「千總コレクション 京の優雅 小袖と屏風」  
7月25日(水)【茨城朝日】
- ・「京文化再興へ 町衆熱意の結晶 千總コレクション京の優雅～小袖と屏風～」7月27日(金)【毎日新聞】
- ・「優雅な美の世界を 北茨城であす開幕 千總コレクション」7月27日(金)【毎日新聞】
- ・「千總コレクション 京の優雅 小袖と屏風」  
7月27日(金)【読売新聞】
- ・「文化イベント 京の優雅 小袖と屏風」  
7月27日(金)【日本経済新聞】
- ・「千總のコレクション 優雅な美の世界へ」  
7月27日(金)【両毛新聞】
- ・「京の雅が一堂に 千總コレクション きょう開幕」  
7月28日(土)【茨城新聞】



ポスターB 2



図録



チラシA 4

- ・「千總所蔵品展開幕 優雅な京文化堪能」  
7月29日(日)【毎日新聞】
- ・「千總コレクション 京の優雅～小袖と屏風～」  
8月2日(木)【まいいばらき】
- ・「五浦美術館企画展 京の優雅～小袖と屏風～」  
8月9日(木)【よみうりタウンニュース】
- ・「優雅な京文化の粋 来月2日まで 千總コレクション展」  
8月15日(水)【茨城新聞】
- ・「9月2日まで 千總コレクション展 応挙の屏風絵、友禅見本裂など 天心記念五浦美術館県内初公開」  
8月17日(金)【常陽新聞】
- ・「京友禅・千總所蔵美術品など紹介 北茨城ですすまで」  
9月1日(土)【毎日新聞】

●関連放送

- ・「スクーピーレポート」 8月8日(水)【茨城放送】
- ・「おもしろミュージアム」 8月17日(金)【FMいわき】

●出品作品一覧

No.	作品名	下絵制作者	制作年	技法等	員数	点数
<b>I 近代の千總</b>						
1	縮緬地千網千鳥に松文様型友禅染裂	今尾景年	明治6年(1873)	型友禅(摺友禅),手彩色	一幅	1
2	縮緬地孔雀に花文様型友禅染裂	岸 竹堂	明治7年(1874)	型友禅(摺友禅),手彩色	一幅	1
3	縮緬地菊牡丹蓮に梅文様型友禅染裂	今尾景年	明治10年(1877)	型友禅(摺友禅),手彩色	一幅	1
4	縮緬地波に雲龍文様型友禅染裂	岸 竹堂	明治12年(1879)	型友禅(摺友禅),手彩色	一幅	1
5-1	縮緬地座敷尽し文様型友禅染裂	榑原文翠	明治14年(1881)	型友禅(摺友禅),かちん摺	一幅	1
5-2	縮緬地折り枝散らし文様型友禅染裂	岸 竹堂	明治14年(1881)	型友禅(摺友禅)		
7-1	縮緬地霞取花に墨流し文様型友禅染裂		明治18年(1885)	型友禅(摺友禅,写友禅)	一幅	1
7-2	縮緬地湊取春秋花尽し文様型友禅染裂	梅村景山	明治18年(1885)	型友禅(摺友禅,写友禅)		
7-3	縮緬地水草に鮎文様型友禅染裂		明治18年(1885)	型友禅(摺友禅,写友禅)		
8-1	縮緬地葉玉文様型友禅染裂		明治21年(1888)	型友禅(摺友禅,写友禅)	一幅	1
8-2	縮緬地花見宴文様型友禅染裂		明治21年(1888)	型友禅(摺友禅,写友禅)		
9-1	縮緬地上代裂散らし文様型友禅染裂		明治21年(1888)	型友禅(摺友禅,写友禅)	一幅	1
9-2	縮緬地雲山道に花の丸文様型友禅染裂		明治21年(1888)	型友禅(摺友禅,写友禅)		
9-3	縮緬地枝垂桜文様型友禅染裂		明治21年(1888)	型友禅(摺友禅,写友禅)		
11-1	縮緬地楓に流水文様型友禅染裂		明治23年(1890)	型友禅(摺友禅,写友禅)	一幅	1
11-2	縮緬地松に千鳥文様型友禅染裂	榑原文翠	明治23年(1890)	型友禅(摺友禅,写友禅)		
11-3	縮緬地武具尽し文様型友禅染裂	榑原文翠	明治23年(1890)	型友禅(摺友禅,写友禅)		
12-1	縮緬地三種の神器文様型友禅染裂	望月玉泉	明治23年(1890)	型友禅(摺友禅,写友禅)	一幅	1
12-2	縮緬地小紋散らし文様型友禅染裂		明治23年(1890)	型友禅(摺友禅,写友禅)		
12-3	縮緬地御簾に菊文様型友禅染裂	幸野煤嶺	明治23年(1890)	型友禅(摺友禅,写友禅)		
13	縮緬地几帳に鷹文様型友禅染裂	今尾景年	明治24年(1891)	型友禅(摺友禅,写友禅)	一幅	1
14-1	縮緬地小袖尽し文様型友禅染裂	藤井玉洲	明治24年(1891)	型友禅(摺友禅,写友禅)	一幅	1
14-2	縮緬地大津絵文様型友禅染裂	久保田米穂	明治24年(1891)	型友禅(摺友禅,写友禅)		
15-1	縮緬地牡丹文様型友禅染裂		明治36年(1903)	型友禅(写友禅)	一幅	1
15-2	縮緬地葛文様型友禅染裂		明治36年(1903)	型友禅(写友禅)		
15-3	縮緬地枝垂桜文様型友禅染裂		明治36年(1903)	型友禅(写友禅)		
17-1	縮緬地撫子文様型友禅染裂		明治37年(1904)	型友禅(写友禅)	一幅	1
17-2	縮緬地椿文様型友禅染裂		明治37年(1904)	型友禅(写友禅)		
17-3	縮緬地渦巻き文様型友禅染裂		明治37年(1904)	型友禅(写友禅)		
18-1	縮緬地円環文様型友禅染裂		明治38年(1905)	型友禅(写友禅)	一幅	1
18-2	縮緬地楓箴文様型友禅染裂		明治38年(1905)	型友禅(写友禅)		
18-3	縮緬地梅に源氏香文様型友禅染裂		明治38年(1905)	型友禅(写友禅)		
20-1	縮緬地葵に鳳凰文様型友禅染裂		明治43年(1910)	型友禅(写友禅)	一幅	1
20-2	縮緬地四季草花文様型友禅染裂		明治43年(1910)	型友禅(写友禅)		
20-3	縮緬地芒に楓文様型友禅染裂		明治43年(1910)	型友禅(写友禅)		
21-1	縮緬地牡丹に芝垣文様型友禅染裂		大正4年(1915)	型友禅(写友禅)	一幅	1
21-2	縮緬地格子に花の丸文様型友禅染裂		大正4年(1915)	型友禅(写友禅)		
21-3	縮緬地花の丸文様型友禅染裂		大正4年(1915)	型友禅(写友禅)		
22-1	羽二重地花に鳥蝶文様型友禅染裂		大正4年(1915)	型友禅(写友禅)	一幅	1
22-2	縮緬地菊牡丹文様型友禅染裂		大正4年(1915)	型友禅(写友禅)		
22-3	縮緬地間垣に秋草文様型友禅染裂		大正4年(1915)	型友禅(写友禅)		
23	縮緬地琳派百花文様型友禅染裂	神坂雪佳	昭和10年(1935)	型友禅(写友禅)	一幅	1
24	平絹地孔雀百花文様型友禅染	小嶋記一	昭和12年(1937)	型友禅(摺友禅)	一幅	1
25	平絹地大花籠文様型友禅染	小嶋記一	昭和19年(1944)	型友禅(摺友禅)	一幅	1
28	風俗美人図	芝千秋	昭和19年(1944)	羽二重地,友禅染,刺繍	四幅	1

No	作品名	下絵制作者	制作年	技法等	員数	点数
29	風俗舞踊図壁掛	芝千秋	昭和20年(1945)	羽二重地、友禪染	一枚	1
30	縮緬地大楓に波頭裾文様裂		昭和時代初期(1930-40年代)	金印、刺繍	一枚	1
31	縮緬地几帳に葉玉菊花裾文様裂		昭和時代初期(1930-40年代)	友禪染、刺繍	一枚	1
32	縮緬地石橋裾文様裂		昭和時代初期(1930-40年代)	金印、刺繍	一枚	1
33	縮緬地袖と鞠裾文様裂		昭和時代初期(1930-40年代)	刺繍	一枚	1
35	縮緬地梅に源氏窓裾文様裂		昭和時代初期(1930-40年代)	絞、刺繍	一枚	1
37	縮緬地牡丹に鯉裾文様裂		昭和時代初期(1930-40年代)	友禪染、刺繍	一枚	1
38	縮緬地松竹梅海老注連縄裾文様裂		昭和時代初期(1930-40年代)	友禪染、刺繍	一枚	1
40	縮緬地熨斗に合貝裾文様裂		昭和時代初期(1930-40年代)	絞、刺繍	一枚	1
42	梅月図	岸 竹堂	明治時代初期(19世紀後期)	紙本墨画淡彩	一幅	1
45	秋草猫に鶉図	岸 竹堂	明治時代初期(19世紀後期)	紙本着色	一幅	1
50	葛に兎図	今尾景年	明治時代初期(19世紀後期)	紙本墨画淡彩	一幅	1
53	松に藤燕図	今尾景年	明治時代初期(19世紀後期)	紙本着色	一幅	1
54	景年花鳥画譜	今尾景年	明治24年(1891)	木版刷	五冊	1
55	頭蓋骨に月図	岸 竹堂	明治23年(1890)	刺繍	一幅	1
56	舞妓に桜図	岸 竹堂	明治23年(1890)	友禪染、刺繍	一幅	1
57	「桜花模写」〈写生〉		明治時代初期(19世紀後期)	絹本着色	一冊	1
58	「楓菊帖」〈写生〉		明治時代初期(19世紀後期)	絹本着色	一冊	1
60	「縮図」〈模写〉		明治時代初期(19世紀後期)	絹本着色	一冊	1
61	「襪紗図案」		明治時代初期(19世紀後期)	紙本墨画淡彩	一冊	1
62	「襪紗図案」		明治時代初期(19世紀後期)	紙本着色	一冊	1
63	「襪紗図案」		明治時代初期(19世紀後期)	紙本着色	一冊	1
64	「絹本雛形」		明治時代初期(19世紀後期)	紙本墨画淡彩	一冊	1
65	「捲里雛形」		明治時代初期(19世紀後期)	紙本着色	一冊	1
66	「縮図」		明治時代初期(19世紀後期)	紙本着色	一冊	1
67	「縮図」		明治時代初期(19世紀後期)	紙本着色	一冊	1
68	「初着雛形」		明治時代初期(19世紀後期)	紙本着色	一冊	1
69	「縮図」		明治時代初期(19世紀後期)	紙本着色	一冊	1
70	「縮図」		明治時代初期(19世紀後期)	紙本着色	一冊	1
71	「縮図」		明治時代初期(19世紀後期)	紙本着色	一冊	1
80	模写「楊柳観音図」	岸 竹堂	明治28年(1895)頃	紙本着色	一幅	1
81	内国勸業博覧会出品模写		明治23年(1890)頃	紙本着色	一冊	1
82	仏国万国大博覧会出品写〈写真帖〉		明治22年(1889)		一冊	1
83	パリ万博名誉大賞賞状		明治33年(1900)		一枚	1
84	日英博覧会出品賞状		明治43年(1910)		一枚	1
86	第3回内国勸業博覧会賞状		明治23年(1890)		一枚	1
87	第4回内国勸業博覧会賞状		明治28年(1895)		一枚	1
91	松に友禪染張り物図屏風		明治25年(1892)	塩瀬地、友禪染、刺繍	六曲一隻	1
92	松に友禪染張り物図地袋		明治20年(1887)頃	ピロード地、素描友禪	四面	1
93	孔雀図		明治時代末期(20世紀初期)	羽二重地、刺繍	一面	1
94	富士に松・水辺に水禽図衝立		明治時代(19世紀末期-20世紀初期)	ピロード地、素描友禪、羽二重地、刺繍	一基(両面)	1
95	楊柳観音図刺繍下絵		明治28年(1895)頃	絹本着色	一幅	1

II 小袖コレクション

102	白縮緬地瓶垂れ文様小袖		江戸時代前期(17世紀中期-後期)	描絵、絞	一領	1
103	白縮緬地琴に枝垂柳桜文様小袖		江戸時代前期(17世紀中期-後期)	刺繍	一領	1
104	白縮緬地籠に梅文様小袖		江戸時代中期(18世紀初期)	摺匹田、描絵、刺繍	一領	1
106	濃萌葱縮緬地山吹文様小袖		江戸時代中期(18世紀初期)	白揚げ、刺繍、摺匹田、描絵	一領	1
107	紅縮緬地大内菱つなぎの円文様小袖		江戸時代中期(18世紀初期)	絞	一領	1
108	濃萌葱縮緬地籠に萩と笹文様小袖		江戸時代中期(18世紀初期)	白揚げ、刺繍、摺匹田、刺繍	一領	1
109	浅葱平絹地薔薇立木に文字文様小袖		江戸時代中期-後期(18世紀後期)	白揚げ、刺繍、摺匹田、描絵	一領	1
111	浅葱麻地雪持南天に文字文様帷子		江戸時代中期(18世紀中期-後期)	白揚げ、刺繍、描絵	一領	1
112	白縮緬地近江八景文様打掛		江戸時代後期(18世紀後期-19世紀初期)	描絵	一領	1
113	納戸縮緬地芦に鷺流水と蛇籠文様小袖		江戸時代後期(18世紀後期-19世紀初期)	友禪染	一領	1
114	納戸縮緬地近江八景文様小袖		江戸時代中期(18世紀中期)	白揚げ、描絵、刺繍	一領	1
117	紅絞縮緬地雪持桐樹文様小袖		江戸時代後期(18世紀末期-19世紀初期)	白揚げ、刺繍、摺匹田、描絵	一領	1
118	白縮緬地立木の菊に文字文様小袖		江戸時代中期(18世紀中期-後期)	摺匹田、刺繍	一領	1
119	白麻地唐扇と花束文様帷子		江戸時代後期(18世紀末期-19世紀初期)	摺匹田、描絵、刺繍	一領	1
120	白縮緬地藤菱に尾長鳥文様打掛		江戸時代後期(18世紀末期-19世紀初期)	摺匹田、描絵、刺繍	一領	1
121	紅縮緬地流水に花筏文様打掛		江戸時代後期(18世紀末期-19世紀初期)	絞、刺繍、描絵	一領	1
122	紫絞縮緬地琴棋書画文様小袖		江戸時代後期(18世紀末期-19世紀初期)	白揚げ、刺繍、描絵	一領	1
124	紫縮緬地雪中竹林孟宗物語文様小袖		江戸時代後期(19世紀初期)	白揚げ、摺匹田、刺繍、描絵	一領	1
126	納戸麻地春景水辺文様帷子		江戸時代後期(19世紀初期)	白揚げ、刺繍、摺匹田、描絵	一領	1
127	紅縮緬地春景御所車御殿文様小袖		江戸時代後期(19世紀初期)	白揚げ、描絵、刺繍	一領	1

No.	作品名	下絵制作者	制作年	技法等	員数	点数
129	納戸麻地春秋景に御所車殿舎文様帷子		江戸時代後期(19世紀初期)	白揚げ、刺繍、摺匹田、描繪	一領	1
131	鉄海松紗綾地葛と杜若文様小袖		江戸時代中期(18世紀初期)	白揚げ、刺繍、描繪	一領	1
132	紅綸子地梅樹散らし文様小袖		江戸時代後期(18世紀後期-19世紀初期)	刺繍	一領	1
133	浅葱紹地雪持菊と芦に楓葉文様単衣		江戸時代後期(19世紀初期)	刺繍	一領	1
134	染分麻地豊漁文様帷子		江戸時代後期(19世紀初期)	友禪染、刺繍、描繪	一領	1
136	白紵地注連繩に海老飾り文様打掛		江戸時代後期(19世紀初期)	刺繍	一領	1
137	納戸縮緬地松原に飛鶴文様小袖		江戸時代後期(19世紀初期)	白揚げ、刺繍、描繪	一領	1
139	納戸縮緬地松の島原袴文様小袖		江戸時代末期(19世紀中期)	友禪染、描繪	一領	1
140	白綸子地寄古裂島原袴文様間着		江戸時代末期(19世紀中期)	刺繍	一領	1
141	紅縮緬地葉玉文様振袖		江戸時代後期(18世紀後期-19世紀初期)	刺繍	一領	1
143	藍縮緬地萩野に鹿文様振袖		江戸時代末期(19世紀後期)	友禪染、描繪	一領	1
144	紫羽二重地繪扇に菊花文様振袖		明治時代前期(19世紀末期)	友禪染、刺繍、墨描	一領	1
145	染分平絹地小紋と丸紋散らし文様振袖		明治時代前期(19世紀末期)	型染、友禪染、刺繍	一領	1
146	納戸綸子地扇面散らし文様打掛		明治時代前期(19世紀末期)	描繪、刺繍	一領	1
147	紫壁縮緬地御簾に雁道具文様小袖		明治時代前期(19世紀末期)	友禪染、刺繍	一領	1
148	紫壁縮緬地雲取に琴尽し島原袴文様小袖		明治時代前期(19世紀末期)	友禪染、刺繍	一領	1
149	藍木綿地菊文様着物		明治時代前期(19世紀末期)	型染	一領	1
150	紅精好地雨中鷺と網干梅文様振袖(小裁)		江戸時代後期(18世紀末期-19世紀初期)	刺繍	一領	1
151	白麻地菊慈童文様帷子振袖(小裁)		江戸時代後期(18世紀末期-19世紀初期)	描繪、藍染、刺繍	一領	1
153	紫縮緬地羽衣文様振袖(小形)		江戸時代後期(19世紀初期)	友禪染	一領	1
154	白羽二重地宝尽し文様産着		江戸時代後期(19世紀初期)	描繪	一領	1
155	浅葱平絹地流水琴に牡丹菊文様振袖(小裁)		江戸時代後期(19世紀初期)	友禪染	一領	1
156	納戸平絹地馬具団扇文様振袖(小裁)		江戸時代後期(19世紀初期)	友禪染	一領	1
157	染分壁縮緬地謡曲文様振袖(小裁)		明治時代前期(19世紀末期)	友禪染、描繪、刺繍	一領	1
158	染分縮緬地物語文様襦袢		明治時代前期(19世紀末期)	友禪染	一領	1
161	黒綸子地吉祥山道文様小袖裂袷		江戸時代初期(17世紀初期)	絞、刺繍	一枚	1
163	白縹子地枝垂桜に献上熨斗文様襦紗		江戸時代中期(17世紀末期-18世紀初期)	刺繍	一枚	1
164	納戸縹子地楓に流水文様襦紗		江戸時代中期(17世紀末期-18世紀初期)	刺繍	一枚	1
165	黒綸子地連山に松竹飛鶴文様小袖裂		江戸時代初期(17世紀初期)	絞、刺繍	一枚	1
166	黒綸子地取形に菊文様小袖裂		江戸時代前期(17世紀前期)	絞、刺繍	一枚	1
167	紅綸子地菊楓に花卉文様小袖裂		江戸時代前期(17世紀前期)	絞、刺繍	一枚	1
168	淡黄紗綾地衝立に梅樹文様小袖裂		江戸時代中期(17世紀末期-18世紀前期)	友禪染、刺繍	一枚	1
169	浅葱縮緬地桜花文様小袖裂		江戸時代中期(17世紀末期)	友禪染、刺繍	一枚	1
170	淡黄麻地襖に牡丹文様帷子裂		江戸時代中期(17世紀末期-18世紀初期)	友禪染、摺匹田、刺繍	一枚	1
171	染分麻地几帳に鷹文様帷子裂		江戸時代中期(17世紀末期-18世紀初期)	友禪染、刺繍	一枚	1
172	『女諸礼集』		万治3年(1660)	版本	一冊	1
173	『新編百人一首抄』		元禄5年(1692)	版本	一冊	1
176	『常盤ひいなかた』		元禄13年(1700)	版本	二冊	1
177	『祇園梶の葉』		宝永4年(1707)	版本	三冊	1
178	『正徳ひいなかた』		正徳3年(1713)	版本	五冊	1
179	『当流模様雛形都の春』		延享4年(1747)	版本	一冊	1
182	『新雛形京小袖』		明和7年(1770)	版本	一冊	1
183	『新雛形千歳袖』		寛政12年(1800)	版本	三冊	1

### Ⅲ 屏風コレクション

184	江戸風俗図屏風		元禄年間(1688-1704)後期	紙本着色	六曲一双	1
186	【重要文化財】保津川図屏風	円山応挙	寛政7年(1795)	紙本着色	八曲一双	1
188	【重要文化財】写生図巻(乙巻)	円山応挙	明和7年~安永元年(1770-72)	紙本着色	一卷	1
189	眼鏡絵	円山応挙	江戸時代中期(18世紀中期)	紙本着色	五枚	1
190	花鳥図屏風	長澤蘆雪	天明年間(1871-89)後期	紙本着色	六曲一双	1
193	猪図屏風	森 祖仙	江戸時代後期(18世紀末期-19世紀初期)	紙本墨画淡彩	二曲一隻	1
195	【重要美術品】孔雀図	岸 駒	江戸時代後期(18世紀末期-20世紀初期)	絹本着色	一幅	1
196	大津唐崎図屏風	岸 竹堂	明治9年(1876)	紙本墨画淡彩	八曲一双	1
197	猛虎図屏風	岸 竹堂	明治23年(1890)	紙本墨画淡彩	六曲一双	1
198	月下猫兒図	岸 竹堂	明治29年(1896)	絹本着色	一幅	1
199	鴨塘翔鷺図巻	岸 竹堂	明治20年代(19世紀末期)	絹本着色	一卷	1
201	山水図屏風	木島桜谷	明治時代後期(19世紀末期-20世紀初期)	紙本墨画淡彩	六曲一双	1
202	元禄舞図屏風	神坂雪佳	明治時代末期・大正時代(20世紀初期)	紙本金地淡彩	六曲一双	1
203	草花図	神坂雪佳	明治時代末期・大正時代(20世紀初期)	絹本着色	双幅	1
	円山応挙「保津川津屏風」鑑査状		明治26年(1893)		一枚	1

## 開館10周年記念 大倉集古館の名宝

- 会期 平成19年10月27日(土)～12月9日(日)
- 主催等 主 催：茨城県天心記念五浦美術館  
特別協力：大倉集古館／ホテルオークラ東京  
後 援：NHK水戸放送局
- ポスター B 2
- チラシ A 3 2つ折り観音開き
- 図録 297×211mm 200頁  
編集：水野美術館、北海道立近代美術館、茨城県  
天心記念五浦美術館、大倉集古館  
発行：水野美術館、HBC北海道放送局、茨城県  
天心記念五浦美術館、大倉集古館
- 入場者数 29,875人
- 観覧料 一般 600(500)円／高大生 400(300)円／  
小中生 200(150)円  
※( )内は20名以上の団体料金
- 出品点数 64点
- 内容解説

日本初の私立美術館として、実業家大倉喜八郎により大正6年に設立された大倉集古館は、国宝・重要文化財を含む数多い日本東洋の古美術品に加え、昭和5年にイタリアで開催された「ローマ開催日本美術展」の出品作を中心とした近代日本画の優品を揃えた美術館である。

本展は、第1部「ローマ開催日本美術展の名画」として、県内初公開となる横山大観の傑作「夜桜」をはじめ前田青邨の「洞窟の頼朝」など、昭和初期の日本画家が描いた名作26点を紹介し、第2部「中世・近世絵画の輝き」では、鎌倉時代の似絵(にせえ)の一級品、国宝「隨身庭騎絵巻(ずいじんていきえまき)」を筆頭に、「石清水八幡曼茶羅図」、久隅守景の「賀茂競馬(かもくらべうま)・宇治茶摘図」という2点の重要文化財を含めた中世・近世の名画36点を紹介した。

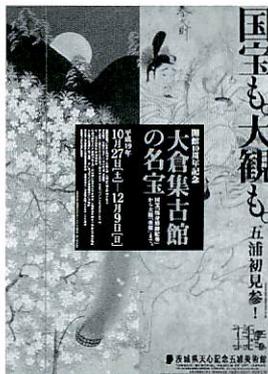
第1部が、ほぼ昭和5年の日本画の状況が伝わる展示であったのに対して、第2部の古美術は、鎌倉時代の仏画、

似絵、室町時代の水墨画、やまと絵、桃山時代の絢爛たる屏風絵、江戸時代の遊楽図、宗達光琳派、浮世絵、狩野派、文人画、円山派、復古やまと絵等々中世、近世の美術展開をコンパクトに振り返ることができる展示となった。開館10周年の記念展として、ローマ展の会場写真や「隨身庭騎絵巻」の部分などを会場壁面一杯に引き伸ばし、雰囲気盛り上げた。

- 担当 小泉淳一(首席学芸員)
- 関連事業  
ギャラリートーク  
担当 小泉淳一(首席学芸員)  
日時 11月10日(土) 午後1時30分～  
11月17日(土) 午後1時30分～  
会場 展示室A・B・C
- 関連イベント  
10周年記念関連イベント  
10周年記念展オープニングセレモニー  
期日 11月26日(金)  
会場 展望ギャラリー  
協賛 株式会社伊勢基本社  
お茶会  
期日 11月25日(日)  
会場 エントランスロビー  
協賛 株式会社カワサキフードサービス  
協力 裏千家茶道 岸宗園社中  
「ポスターでたどる開館10年の歩み」展示  
日時 会期中  
会場 展望ロビー  
絵はがきプレゼント  
期日 10月27日(土)、11月8日(木)

### ●関連記事

- ・「特集:天心と五浦一天心のころを未来にー 第3章天心を受け継いだもの／開館10周年記念 大倉集古館の名宝」 9月【広報きたいばらき】
- ・「27日から『大倉集古館の名宝』 国宝など64点」 10月24日【常陽新聞】



ポスターB 2



図録



チラシA 4

- ・「企画展 大倉集古館の名宝 日本画の名品64点」  
10月24日【毎日新聞】
- ・「大観の名作や国宝など64点」 10月27日【茨城新聞】
- ・「まちかど 五浦美術館で10周年記念展」  
10月27日【朝日新聞】
- ・「隨身庭騎絵巻【国宝】」(小泉淳一)  
11月1日【きたいばらき 市議会だより】
- ・「逸品一話 横山大観『夜桜』日本の象徴 全身全霊込めて描く」(小泉淳一) 11月8日【朝日新聞】
- ・「国宝も大観も五浦初見参! 茨城県天心記念五浦美術館」  
11月16日【両毛新聞】
- ・「横山大観『夜桜』 豪奢な夢へ誘う迫力 大倉集古館の名宝から 1」(小泉淳一) 11月17日【茨城新聞】
- ・「『隨身庭騎絵巻』 スターを描いた似絵 大倉集古館の名宝から 2」(小泉淳一) 11月20日【茨城新聞】
- ・「原在中『百鬼夜行』 うごめく道具の妖怪 大倉集古館の名宝から 3」(小泉淳一) 11月21日【茨城新聞】
- ・「日本美術の名品一堂に 大倉集古館の名宝展」  
11月21日【茨城新聞】
- ・「竹内栖鳳『蹴合』 迫真性際立つシャモ 大倉集古館の名宝から 4」(小泉淳一) 11月23日【茨城新聞】
- ・「宇田荻邨『淀の水車』 水面や緑の鮮やかさ 大倉集古館の名宝から 5」(小泉淳一) 11月24日【茨城新聞】
- ・「久隅守景『宇治茶摘図』 生き生きと風物描く 大倉集古館の名宝から 6」(小泉淳一) 11月24日【茨城新聞】
- 関連放送
- ・「ゴジてれシャトル駅前弁当中継 (大倉集古館の名宝広報)」  
10月18日【福島中央テレビ】
- ・「リビスパ〜Living Spice (大倉集古館の名宝広報)」  
10月30日【福島中央テレビ】
- ・「おもしろミュージアム」 11月2日【FMいわき】
- ・「スクーピーレポート」 11月6日【茨城放送】
- ・「芸術よもやま話<FMアップデート>」  
11月9日【NHK FM(水戸)】

## ●出品作品一覧

No.	作者名	生没年(西暦)	作品名	制作年	西暦	材質・形状	寸法(たて×よこ)cm	備考
第1部「ローマ開催日本美術展の名画」								
1	竹内 栖鳳	1864-1942	蹴合(けあい)	昭和4年	1929	絹本着色軸装	114.7×132.2	●
2	横山 大観	1868-1958	山四趣(霞「春霽」/雨「霖雨」/風「嶺風」/雪「雪餘」)	大正11年	1922	紙本墨画淡彩軸装 四幅対	各60.5×85.2	○
3	横山 大観	1868-1958	瀟湘八景(しようしようはっけい)/ (山市晴嵐<さんしせいらん>/ 遠浦帰帆<えんぽきはん>/ 洞庭秋月<どうていしゅうげつ>/ 瀟湘夜雨<しようしようやう>)	昭和2年	1927	紙本墨画金泥軸装 八幅対のうち四幅	各82×121	○
3	横山 大観	1868-1958	瀟湘八景/ (烟寺晚鐘<えんじばんしょう>/ 漁村返照<ぎょそんへんしょう>/ 平沙落雁<へいさらくがん>/ 江天暮雪<かうてんぼせつ>)	昭和2年	1927	紙本墨画金泥軸装 八幅対のうち四幅	各82×121	●
4	横山 大観	1868-1958	夜桜	昭和4年	1929	紙本金地着色屏風 六曲一双	各177.5×376.8	○
5	荒木 十畝 (じっぽ)	1872-1944	晩秋	昭和4年	1929	絹本淡彩軸装	192×86	
6	下村 観山	1873-1930	維摩默然(ゆいまもくねん)	大正13年	1924	絹本着色軸装	170×91	○
7	下村 観山	1873-1930	不動尊	大正14年	1925	絹本着色軸装	222×106	●
8	川合 玉堂	1873-1957	秋山懸瀑(しゅうざんけんぱく)	昭和4年	1929	絹本着色軸装	200.1×84.9	●
9	川合 玉堂	1873-1957	奔潭(ほんたん)	昭和4年	1929	絹本裏箔墨画屏風 六曲一双	各175×379	●
10	筆谷 等観	1875-1950	春耕	昭和4年	1929	絹本墨画軸装	47.4×74.8	
11	橋本 静水	1876-1943	桃に鳩の図	昭和4年	1929	絹本着色軸装	61.5×85.5	●
12	鑷木 清方	1878-1972	七夕	昭和4年	1929	絹本着色屏風 六曲一双	171×378	前期左隻、 後期右隻
13	大智 勝観	1882-1958	梅雨明け	昭和4年	1929	絹本着色額装 二面	各177×170	
14	橋本 関雪	1883-1945	猿猴図	昭和4年	1929	絹本着色軸装	71.6×88.4	○
15	橋本 関雪	1883-1945	暖日	昭和4年	1929	絹本着色軸装	54×72.9	●
16	小林 古径	1883-1957	木菟図(みみずくず)	昭和4年	1929	絹本着色軸装	69.2×106.2	●
17	前田 青邨	1885-1977	洞窟の頼朝	昭和4年	1929	絹本着色屏風 二曲一隻	189.8×278	○
18	三木 翠山 (すいざん)	1887-1957	鏡	昭和4年	1929	絹本着色軸装	78.5×86.5	○
19	佐々木尚文	1890-1970	放生司(ほうじょうし)	昭和4年	1929	絹本着色額装	230.6×143.8	

○：前期展示  
●：後期展示

No.	作者名	生没年(西暦)	作品名	制作年	西暦	材質・形状	寸法(たて×よこ)cm	備考
20	穴山 勝堂	1890-1971	桂川の秋	昭和4年	1929	絹本着色軸装	171×56	
21	田中 咄哉 (とっさい)	1893-1958	水鳥	昭和4年	1929	紙本墨画淡彩軸装	66.5×87.3	●
22	山口 蓬春	1893-1971	木瓜(ぼけ)	昭和4年	1929	絹本着色額装	167.8×170.5	
23	速水 御舟	1894-1935	鯉魚(りぎよ)	昭和4年	1929	紙本着色軸装	50.4×104.6	●
24	宇田 荻邨 (てきそん)	1896-1980	淀の水車	大正15年	1926	絹本着色屏風 二曲一隻	192×181.5	●
25	酒井 三良	1897-1969	豊穰	昭和4年	1929	絹本着色額装	198.4×144.2	
26	伊東 深水	1898-1972	小雨	昭和4年	1929	絹本着色軸装	80×99	○

○:前期展示  
●:後期展示

## 第2部「中世近世絵画の輝き」

### <国宝「隨身庭騎絵巻」>

27			隨身庭騎絵巻(国宝)		13世紀	紙本淡彩巻子	28.6×237	
----	--	--	------------	--	------	--------	----------	--

### <仏画の魅力>

28			石清水八幡曼荼羅図(重要文化財)		13世紀	絹本着色軸装	139.3×83.8	
29			羅漢像		13世紀	紙本淡彩軸装	98.1×38.2	●
30			釈迦三尊十大弟子像		14世紀	絹本着色軸装	81.6×39.8	
31			阿弥陀三尊来迎図		14世紀	絹本着色軸装	109.8×52	
32			虚空蔵菩薩像		14世紀	絹本着色軸装	79.1×39.4	
33			不動明王二童子像		14世紀	絹本着色軸装	90.5×39.9	
34			愛染明王像		14世紀	絹本着色軸装	124×82	
35			仏涅槃(ねはん)図		14世紀	絹本着色軸装	195.5×175.8	
36			聖徳太子勝鬘経講図 (しょうまんぎょうこうさんず)		14世紀	絹本着色軸装	80.5×49.5	
37			春日鹿曼荼羅図		15世紀	絹本着色軸装	157×65.3	○
38			十二天像より/帝釈天・伊舎那(いしゃな)天・火天・水天		16世紀	紙本淡彩軸装 十二幅のうち四幅	各107.3×38.5	

### <室町桃山時代の絵画>

39	玉腕 梵芳 (ぎょくえんぼ んぼう)	生没年不詳	蘭図		15世紀	紙本墨画軸装	85.7×31.5	
40	前嶋 宗祐	生没年不詳	鶏頭小禽図		16世紀中期	紙本着色軸装	42.6×30.7	
41	狩野 元久	生没年不詳	人物花鳥扇面画帖(かわほり帖)		16世紀	紙本墨画画帖張込 一帖十二図のうち八図	各18.5×51	前期4図, 後期4図
42			職人尽画帖 (しょくにんづくしがじょう)		16世紀後半	絹本着色画帖 十二帖のうち十一図	各22.9×21.3	前期5図, 後期6図
43			波に千鳥図		17世紀前半	紙本金地着色屏風 六曲一双	各155×327	

### <百花繚乱の江戸絵画>

44	住吉 如慶	1599-1670	秋草図		17世紀前半	紙本着色屏風 六曲一双	各79.5×263	○
45			網代に葡萄図		17世紀前半	紙本金地着色屏風 六曲一双	各153×325	
46	宗達派		扇面流図		17世紀前半	紙本金地着色屏風 六曲一双	各159.5×358	
47	土佐派		源氏物語濡標(みおつくし)図		17世紀前半	紙本金地着色屏風 六曲一隻	150×359	
48	曾我 二直庵	生没年不詳	蛸子和尚龍虎図		17世紀前半	紙本墨画軸装 三幅対	各114×51.5	
49	狩野 常信	1636-1713	猿猴捉月図		17世紀	絹本墨画軸装	53×96.3	
50	久隅 守景	生没年不詳	賀茂競馬図(重要文化財)		17世紀後半	絹本着色屏風 六曲一双のうち、左隻	151×362.5	○
50	久隅 守景	生没年不詳	宇治茶摘(うじちゃつみ)図(重要文化財)		17世紀後半	絹本着色屏風 六曲一双のうち、右隻	151×362.5	●
51			遊楽人物図		17世紀後半	紙本銀地着色屏風 六曲一隻	各扇87.5×42	
52	宮川 長亀	生没年不詳	上野観桜図		18世紀前半	絹本金地着色屏風 六曲一双のうち、左隻	123×298.8	○
52	宮川 長亀	生没年不詳	隅田川納涼図		18世紀前半	絹本金地着色屏風 六曲一双のうち、右隻	123×298.8	●
53	小川 破笠 (はりつ)	1663-1747	六歌仙図	享保19年	1734	絹本着色軸装	27×70	
54	円山 応挙	1733-1795	雁図		18世紀	紙本淡彩屏風 六曲一双	各164×358	

No.	作者名	生没年(西暦)	作品名	制作年	西暦	材質・形状	寸法(たて×よこ)cm	備考
55	原 在中	1750-1837	百鬼夜行図	安永7年	1778	紙本着色屏風 六曲一双	72×227	○:前期展示 ●:後期展示
56	酒井 抱一	1761-1828	五節句図	文政10年	1827	絹本着色軸装 五幅対	各103.5×36	
57	谷 文晁	1763-1840	夏景山水図	18世紀後半		絹本着色軸装 双幅	各168×87.3	
58			桜図	18~19世紀		紙本金地着色屏風 六曲一双	各153×328	
59	松村 景文	1779-1843	四季草花図	19世紀前半		紙本金地着色屏風 六曲一双	各64.5×264	●
60	冷泉 為恭 (ためちか)	1823-1864	仏頂尊勝陀羅尼神明仏陀降臨曼荼羅 図(ぶっちょうそんしょうだらにしんめい ぶっだこうりんまんだらず)	文久3年	1863	絹本着色軸装	149.6×91.2	○
61	冷泉 為恭	1823-1864	山越阿弥陀図	文久3年	1863	絹本着色軸装	173.5×90	
62	歌川 広重	1797-1858	飛鳥山隅田川佃島図	19世紀前半		絹本着色軸装 三幅対	各90.4×29.2	

<参考出品>

63	徐 世昌	1857-1936	大倉集古館名札	大正期		木造	176×35	
64	徳川 慶喜	1837-1913	書額「博物館」	19世紀後半		統本墨書額装	39.6×127	

No.

<資料展示>

1	横山大観書簡,大倉喜七郎宛	昭和4年9月3日付(巻紙,墨)	茨城県立図書館蔵
2	横山大観書簡,大倉喜七郎宛	昭和4年12月31日付(巻紙,墨)	茨城県立図書館蔵
3	「ローマ開催日本美術展覧会開会の辞草稿」	昭和4年(罫紙4枚,墨)	茨城県天心記念五浦美術館蔵
4	「ローマ開催日本美術展覧会開会の辞草稿英訳」	昭和4年(400字詰原稿用紙4枚,インク)	茨城県天心記念五浦美術館蔵
5	「ローマにおける日本美術展について 草稿」	昭和4年(200字詰原稿用紙17枚,インク)	茨城県天心記念五浦美術館蔵
6	横山大観書簡,岡倉由三郎宛	昭和5年1月19日付(巻紙,墨)	茨城県天心記念五浦美術館蔵
7	横山大観書簡,岡倉由三郎宛	昭和5年1月20日付(巻紙,墨)	茨城県天心記念五浦美術館蔵
8	『羅馬開催 日本美術展覧会記念図録』	昭和5年(成徳堂,非売品)	大倉集古館蔵
9	『伊太利政府主催 大倉男爵後援 羅馬開催日本美術展覧会に就いて』	昭和5年(編集発行 横山秀麿,非売品)	茨城県天心記念五浦美術館蔵

## 創画会60年展 —創造美術からの流れ—

- 会期 平成20年1月2日(水)～2月11日(月・祝)
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館／  
読売新聞社／美術館連絡協議会  
協賛：ライオン株式会社／清水建設株式会社／  
大日本印刷株式会社／三菱商事株式会社  
協力：社団法人創画会
- ポスター B 2
- チラシ A 4
- 図録 300×225mm 204頁  
編集：読売新聞東京本社文化事業部／  
アート・ベンチャー・オフィス ショウ  
発行：読売新聞社
- 入場者数 18,102人
- 観覧料 一般600(500)円／高大生400(300)円／  
小中生200(150)円  
※( )内は20名以上の団体料金
- 出品点数 71点(その他写真等資料12点を参考展示)
- 内容解説  
創画会は創立60年を迎える。昭和23年(1948)1月、「我等は世界性に立脚する日本絵画の創造を期す」の綱領を掲げ、秋野不矩、上村松篁、福田豊四郎、山本丘人、吉岡堅二らの東京や京都の中堅画家13名によって創造美術が結成された。その後、創造美術は新制作協会日本画部、さらに創画会と名称を変えながら、半世紀以上経った今日も日展、院展と並ぶ現代日本画壇の一翼を担い続けている。  
本展では、創立時から現在までの主要画家の作品71点を「起」－「創造美術」創立(1948～1950)、「承」－「新制作協会日本画部」へ(1951～1973)、「展」－「創画会」発足(1974～現在)の3つの時代に分けて展示し、新しい日本画を目指した画家たちの熱き創造の軌跡をたどった。
- 担当 武石 洋(首席学芸主事)

### ●関連事業

美術講演会「起承転結—創画会の60年」

講師 上村 淳之(創画会理事長)

日時 1月26日(土)午後2時～3時

会場 講堂

上村淳之サイン会

日時 1月26日(土)午後3時15分～

会場 展望ギャラリー

企画展ギャラリートーク

担当 武石 洋(首席学芸主事)

日時 1月14日(月・祝)午後1時30分～2時30分

2月2日(土)午後1時30分～2時30分

会場 展示室A・B・C

### ●関連記事

- ・「創画会60年展—創造美術からの流れ—」  
9月20日【月刊美術】
- ・「創画会60年の起承転、そして結」(野地耕一郎)  
9月20日【月刊美術】
- ・「もうすぐ開幕 創画会60年展—創造美術からの流れ—」  
12月19日【読売新聞】
- ・「創画会が60周年記念展 大半が初公開の71点」  
12月23日【読売新聞】
- ・「創画会60年展」  
12月28日【毎日新聞】
- ・「創画会の軌跡を紹介 県天心記念五浦美術館で企画展」  
1月1日【読売新聞】
- ・「創画会60年展 2日から」  
1月1日【常陽新聞】
- ・「創画会60年展—創造美術からの流れ— 2日～2月11日」  
1月1日【茨城新聞】
- ・「軌跡追う創画会60年展 2日から天心記念五浦美術館」  
1月1日【夕刊いわき民報】
- ・「創画会60年展(日本画)」  
1月1日【週刊茨城朝日】
- ・「北茨城で創画会展始まる 五浦美術館 来月11日まで」  
1月6日【読売新聞】
- ・「創画会60年展(上) 上村松篁「燦雨」南国への思い結実」(首席学芸主事 武石洋)  
1月8日【読売新聞】



ポスターB 2



図録



チラシA 4

- ・「創画会60年展—創造美術からの流れ—」  
1月9日【朝日新聞】
  - ・「逸品一話 上村松篁「燦雨」南国特有のスコールで表現」  
(首席学芸主事 武石洋) 1月10日【朝日新聞】
  - ・「創画会60年展—創造美術からの流れ—」  
1月10日【まいいばらき】
  - ・「創画会60年展(中)小野具定「漁港」白と黒で生死見  
つめ」(首席学芸主事 武石洋) 1月11日【読売新聞】
  - ・「創画会60年展—創造美術からの流れ—」  
1月11日【日本経済新聞】
  - ・「日本画の世界を楽しむ 北茨城・茨城県天心記念五浦美  
術館」 1月11日【よみうりタウンねっと】
  - ・「熱き創造の軌跡<1>創画会60年展から 上村松篁「燦  
雨」写生画の伝統引き継ぐ」(首席学芸主事 武石洋)  
1月12日【茨城新聞】
  - ・「創画会60年展(下)宮いつき「杭を打つ音」隠れた物語を  
暗示」(首席学芸主事 武石洋) 1月15日【読売新聞】
  - ・「創画会60年展—創造美術からの流れ—」  
1月16日【毎日新聞】
  - ・「創画会主要画家で60年展」  
1月17日【よみうりタウンニュース】
  - ・「熱き創造の軌跡<2>創画会60年展から 秋野不矩「チャ  
ンパーの花」生命感があふれる表現」(首席学芸主事  
武石洋) 1月19日【茨城新聞】
  - ・「歩みたどる「創画会60年展」時代と格闘、作家の足跡  
県天心記念五浦美術館」 1月23日【茨城新聞】
  - ・「熱き創造の軌跡<3>創画会60年展から 渡辺學「川  
口」漁師素材に力強い世界」(首席学芸主事 武石洋)  
1月26日【茨城新聞】
  - ・「創画会60年展で上村理事長が講演」  
1月27日【読売新聞】
  - ・「創画会60年展—創造美術からの流れ—」  
2月1日【美連協ニュース】
  - ・「熱き創造の軌跡<4>創画会60年展から 上村淳之「蓮  
池」現代花鳥画の第一人者」(首席学芸主事 武石洋)  
2月2日【茨城新聞】
  - ・「熱き創造の軌跡<5>創画会60年展から 重政啓治「時  
計台」個性豊かな若手作家ら」(首席学芸主事 武石洋)  
2月9日【茨城新聞】
  - ・「創画会60年展 あすフィナーレ」2月10日【読売新聞】
- 関連放送
- ・「みんなの教育」 1月5日【茨城放送】
  - ・「スクーピーレポート」 1月8日【茨城放送】
  - ・新日曜美術館「アートシーン」  
1月20日【NHK教育テレビ】
  - ・「おもしろミュージアム」 1月25日【FMいわき】
  - ・FM水戸アップデート「芸術よもやま話」  
1月25日【NHK FM(水戸)】
  - ・おはよう茨城「満喫しよう冬の北茨城」  
1月27日【フジテレビ】

## ●出品作品一覧

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	西暦	形状	寸法(たて×よこ)cm	所蔵先
1	秋野 不矩	1908-2001	チャンパーの花	昭和56年	1981	紙本・彩色・額装	89×59	静岡よみうりカントリークラブ
2	秋野 不矩		唄うパウル(吟遊詩人)	昭和59年	1984	紙本・彩色・額装	143×57	佐久市立近代美術館
3	上村 松篁	1902-2001	蓮	昭和56年	1981	紙本・彩色・額装	153.5×185	松伯美術館
4	上村 松篁		芦	昭和63年	1988	紙本・彩色・額装	195×130	松伯美術館
5	上村 松篁		燦雨	昭和47年	1972	紙本・彩色・額装	182×363	松伯美術館
6	奥村 厚一	1904-1974	オランダ風景	昭和38年	1963	紙本・彩色・屏風二曲一隻	113.4×183.3	酒蔵美術館
7	加藤 栄三	1906-1972	月響	昭和25年	1948	絹本・彩色・額装	130×162	(株)十六銀行
8	菊池 隆志	1911-1982	交響詩画 嵐の海第二章	昭和53年	1978	紙本・彩色・額装	173.5×122	京都市美術館
9	沢 宏毅	1905-1982	紅白梅	不詳	不詳	紙本・彩色・屏風二曲一双	各153.2×168.4	(財)タカヤ文化財団華鶴大塚美術館 (株)損保ジャパン
10	高橋 周桑	1900-1964	あじさい	昭和25年	1950	紙本・彩色・額装	122×92	
11	広田 多津	1904-1990	口紅	昭和51年	1976	紙本・彩色・額装	99×71	
12	広田 多津		裸婦	昭和62年	1987	紙本・彩色・額装	99×71.5	
13	福田 豊四郎	1904-1970	北京の屋根	昭和32年	1957	紙本・彩色・額装	50×73	秋田県立近代美術館
14	福田 豊四郎		軍鶏	昭和29年	1954	紙本・彩色・額装	89.5×63.7	秋田県立近代美術館
15	向井 久万	1908-1987	牡丹(左)	昭和23年	1948	紙本・彩色・額装	90.5×242	歴史館いずみさの
16	山本 丘人	1900-1986	晩雪	昭和31年	1956	紙本・彩色・額装	140.5×177	藤田観光株式会社
17	山本 丘人		吹き抜ける雨晴	昭和55年	1980	絹本・彩色・額装	79.3×145.5	平塚市美術館(寄託)
18	吉岡 堅二	1906-1990	くさむら	昭和25年	1950	紙本・彩色・額装	75.5×69.5	自由学園
19	吉岡 堅二		雪	昭和52年	1977	紙本・彩色・額装	130.3×160	
20	麻田 鷹司	1928-1987	詩仙堂	昭和52年	1977	紙本・彩色・額装	78×117	財団法人脇村奨学会
21	岩崎 鐸	1913-1988	迷い児の天使	昭和27年	1952	紙本・彩色・額装	152.4 ×159.4	牧阿佐美バレエ団橘バレエ学校
22	稗田 一徳	1920-	鸚鵡と花	昭和26年	1951	紙本・彩色・額装	53×73	田辺市立美術館
23	稗田 一徳		天宇	平成元年	1989	紙本・彩色・額装	212×151.2	田辺市立美術館
24	信太 金昌	1920-	森の夢	昭和26年	1951	紙本・彩色・額装	106.3×196.4	

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	西暦	形状	寸法(たて×よこ)cm	所蔵先
25	石本 正	1920-	紅装	昭和62年	1987	紙本・彩色・額装	98×68	今井美術館
26	石本 正		幡竜湖のおとめ	平成14年	2002	紙本・彩色・額装	172.5×90.5	浜田市世界こども美術館
27	加山 又造	1927-2004	白い太陽	昭和36年	1961	紙本・彩色・額装	142.2×265.6	水野美術館
28	加山 又造		朧	昭和47年	1972	紙本・彩色・額装	115.8×72	水野美術館
29	上野 泰郎	1926-2005	裁きの時	昭和49年	1974	紙本・彩色・額装	181×260	国際交流基金
30	野崎 貢	1916-2001	かざはな	昭和42年	1967	紙本・彩色・額装	162×130	
31	渡辺 學	1916-2000	川口(遺作)	平成12年	2000	紙本・彩色・額装	181.8×227.3	
32	上原 卓	1926-1986	水辺寂照	昭和43年	1968	紙本・彩色・額装	210.5×182	
33	太田 正弘	1914-1978	北壁	昭和38年	1963	紙本・彩色・額装	221×157.4	福島県立美術館
34	西村 昭二郎	1927-1999	朝霧	昭和50年	1975	紙本・彩色・屏風六曲一隻	169×292	
35	平川 敏夫	1924-2006	晩春の庭	昭和29年	1954	紙本・彩色・額装	151.4×115.4	佐久市立近代美術館
36	工藤 甲人	1915-	池心の戯れ	平成5年	1993	紙本・彩色・額装	175×140	青森県立美術館(寄託)
37	毛利 武彦	1920-	隠れ瀧	平成7年	1995	紙本・彩色・額装	212×181	箱根芦ノ湖成川美術館
38	小野 具定	1914-2000	漁港	昭和52年	1977	紙本・彩色・額装	259×182	国際交流基金
39	鳥頭尾 精	1932-	飛兆	昭和42年	1967	紙本・彩色・額装	112×194	
40	大河内 正夫	1929-	山路	平成10年	1998	紙本・彩色・額装	80.3×116.7	
41	竹山 博	1923-1994	青鷺	昭和54年	1979	紙本・彩色・額装	113×195	雪梁舎美術館
42	黒沢 吉蔵	1928-	桜谷	平成14年	2002	紙本・彩色・額装	162.1×227.3	
43	菊地 養之助	1908-2003	仮面の塔	昭和38年	1963	紙本・彩色・額装	162×112	福島県立美術館
44	池田 幹雄	1928-	時計	昭和40年	1965	紙本・彩色・額装	180.2×130.2	青梅市立美術館
45	塩見 仁朗	1929-1996	林藪寂光	昭和43年	1968	紙本・彩色・額装	212×151	京都市美術館
46	大森 運夫	1917-	受胎告知	平成18年	2006	紙本・彩色・額装	181.8×227.3	
47	小嶋 悠司	1944-	群像K	昭和43年	1968	紙本・彩色・額装	148×199.5	京都市立美術館
48	坂口 麻沙子	1926-	鏡の前	平成17年	2005	紙本・彩色・額装	162.5×131	
49	滝沢 具幸	1941-	冬の林	平成9年	1997	紙本・彩色・額装	145.5×227.2	
50	村松 秀太郎	1935-	千手観音	平成16年	2004	紙本・彩色・額装	181.7×227.3	
51	上村 淳之	1933-	蓮池	平成12年	2000	紙本・彩色・額装	130.3×194	
52	高畑 郁子	1929-	精(揺ぐ)	昭和46年	1970	紙本・彩色・額装	146×187.7	豊橋市美術博物館
53	堀越 保二	1939-	花を訪う	昭和53年	1995	紙本・彩色・額装	156×247	
54	佐々木 弘	1930-	黒姫浮かぶ	平成8年	1996	紙本・彩色・額装	162.1×130	京都市立銅駝美術工芸高校
55	戸田 康一	1940-	青い硝子の部屋から	平成12年	2000	紙本・彩色・額装	181.8×227.3	青梅市立美術館
56	中尾 壽男	1945-	映	平成7年	1995	紙本・彩色・額装	162×112	
57	浅野 均	1955-	大塊深奥	平成15年	2003	紙本・彩色・額装	240×240	
58	柴田 長俊	1949-	聖地巡礼ー母なる河ー	平成8年	1996	紙本・彩色・額装	202×212	雪梁舎美術館
59	松井 和弘	1939-	コンスタンティヌスの勝利(部分) アレツォ・サン・フランチェスコ聖堂	平成17年	2005	絹本・彩色・額装	182×182	
60	内田 あぐり	1949-	若い娘と美しい老婆	平成18年	2006	麻紙・岩絵具・墨・布・紙 糸・プラスチック・額装	162.1×130.3	
61	竹原 城文	1948-	洗い場	平成18年	2006	絹本・彩色・額装	130.3×89.4	
62	宮城 真	1948-	地平より	平成7年	1995	紙本・彩色・額装	181.8×227	
63	吉川 弘	1954-	アジャンタ全景	平成2年	1990	紙本・彩色・額装	181.8×227.3	
64	宮 いつき	1956-	杭を打つ音	平成15年	2006	紙本・彩色・額装	181.8×227.3	
65	重政 啓治	1953-	時計台	平成6年	1994	岩絵具・箔・和紙・洋紙・杉 板・段ボール紙・額装	181.8×227.3	
66	津田 一江	1950-	あのご(わが心のキアーラ)	昭和56年	1981	紙本・彩色・額装	205×205	平塚市美術館
67	雲丹亀 利彦	1966-	午後の樹	平成15年	2003	紙本・彩色・額装	91×116.9	
68	清水 豊	1967-	Paramita	平成18年	2006	紙本・彩色・額装	130×89	
69	植田 一穂	1961-	Figure	平成15年	2005	紙本・彩色・額装	116.7×91	
70	武田 州左	1962-	GLOBE光・224	平成7年	1995	紙本・彩色・額装	116.7×116.7	
71	平山 英樹	1956-	海行山行	平成15年	2003	紙本・彩色・額装	162.1×227.3	

## 2 所蔵品展

### ●概要

茨城県近代美術館所蔵作品から日本画を中心に、その都度テーマを設けて選び出し、展示室Aで年4回の展示公開をした。

### ●主催 茨城県天心記念五浦美術館

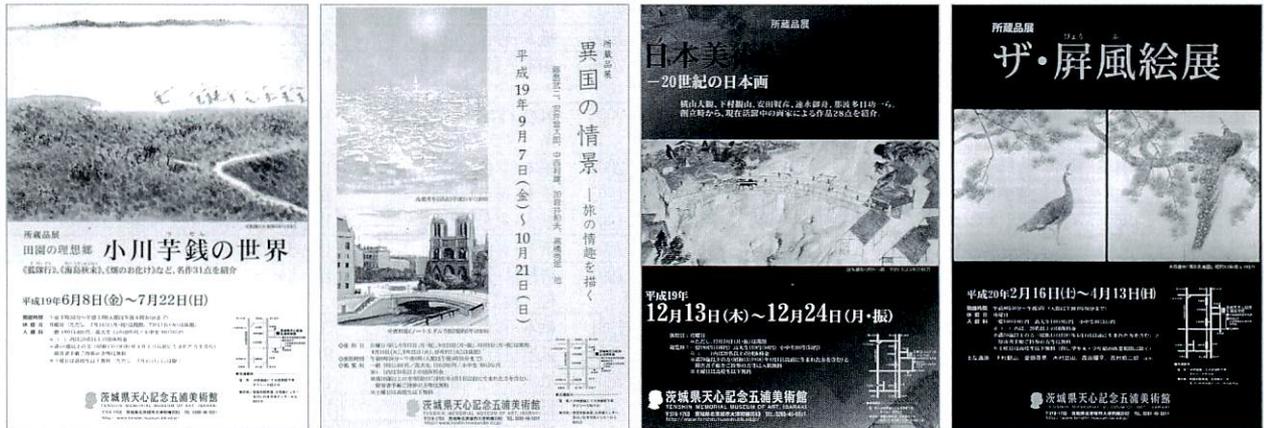
### ●会期及びテーマ

No	会 期	テ ー マ
	3/29(土)ー4/22(日)	戦後日本画へのいざない
1	6/8(金)ー7/22(日)	第1回所蔵品展 田園の理想郷 小川芋銭の世界
2	9/7(金)ー10/21(日)	第2回所蔵品展 異国の情景ー旅の情趣を描く
3	12/13(木)ー12/24(月・振)	第3回所蔵品展 日本美術院の画家たちー20世紀の日本画
4	2/16(土)ー3/30(日)	第4回所蔵品展 ザ・屏風絵展

- 観覧料 一般180(140)円／高大生110(80)円／小中生80(50)円  
 ※( )内は20名以上の団体料金  
 ※土曜日は高校生以下無料

- 入館者数 73,749人

### ●所蔵品展チラシ



## 第1回所蔵品展 田園の理想郷 小川芋銭の世界 平成19年6月8日(金)～7月22日(日)

江戸赤坂の牛久藩邸内で生まれた小川芋銭(1868～1938)は、明治4年(1871)、家族と共に茨城県牛久沼のほとり(現、牛久市)に移住した。11歳で上京してのち洋画を学び、明治21年より「朝野新聞」の客員として新聞の挿絵等を描くようになる。明治26年には牛久に戻り、農業に従事するかたわら新聞、文芸誌に挿絵や漫画の掲載を続けた。大正6年(1917)、第3回珊瑚会展に出品した作品が横山大観の目に留まり、日本美術院同人に推挙され、以後、再興院展を中心に独自の水墨画作品を出品して活躍した。

芋銭は、理想郷としての農村風景や田園の風物、河童などの水魅山妖、また道釈人物(仏教や道教に登場する人々)等、多彩なテーマを墨色豊かに描いている。

本展では、小川芋銭の描いた日本画31点の他、芋銭の絵付けによる磁器等を紹介した。

### ●出品目録

No.	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	備考
〈日本画〉					
1	断琴の夕 <small>だんきん</small>	明治37年	紙本・淡彩・軸装(対幅)	111×42	
2	隠家	明治37年	絹本・墨画・軸装(対幅)	112.5×42	
3	糸瓜と狗子 <small>へちま くし</small>	明治43年頃	紙本・淡彩・軸装(三幅対)	129×40	
4	雷神	明治43年頃	紙本・淡彩・軸装(三幅対)	129×40	
5	長加子と雛 <small>ながかす ひな</small>	明治43年頃	紙本・淡彩・軸装(三幅対)	129×40	
6	肉案 <small>にくあん</small>	大正11年頃	金箋紙・墨画・軸装	131×46	
7	黄初平 <small>こうしゅうへい</small>	大正12年	絹本・彩色・軸装	59.5×84.5	
8	夢中野干燈 <small>むちゅうやかんとう</small>	大正14年	紙本・墨画・軸装	62.9×84.6	
9	鬼之洗濯図	大正13～15年頃	紙本・淡彩・扇子	14.5×38.5	阿波村稔氏寄贈
10	畑のお化け	昭和4年	絹本・彩色・軸装	42.2×57.5	寄託
11	狐隊行 <small>こたいこう</small>	昭和5年	紙本・淡彩・軸装	45.3×62.5	
12	河伯 <small>かっぼ</small>	昭和6年	紙本・墨画・軸装	35.5×43.5	
13	海島秋来 <small>かいとうしゅうらい</small>	昭和7年	紙本・淡彩・軸装	112×95.6	
14	祭魚 <small>さいぎょ</small>	昭和7年頃	紙本・墨画・軸装	43×52.3	
15	苔葉と水蒸気	昭和7年頃	絹本・淡彩・軸装	40×51.5	
16	魚雨 <small>ぎょいう</small>	昭和7年頃	紙本・淡彩・軸装	44×56	
17	水国十二橋	昭和8年頃	紙本・淡彩・軸装	46×53.4	
18	江村六月,雲巒烟水 <small>こうそんろくがつ うんらんえんすい</small>	昭和10年	絹本・淡彩・屏風(六曲一双)	各157.5×333	篠目龍三氏寄贈
19	霞ヶ浦	昭和10年	紙本・墨画・軸装	78×114.3	
20	六月の桜(奥の細道)	昭和10年	絹本・淡彩・軸装	50×56.8	
21	眼食帖 <small>がんじきちょう</small>	昭和10年頃	絹本・淡彩・画帖	各28×34.2	
22	河童 <small>かっぼ</small>	昭和11年	紙本・墨画・軸装	36×29	
23	菟玖波仙郷 <small>つくとせせんきょう</small>	昭和11年頃	紙本・淡彩・軸装	30.1×34	
24	筑波春雲	昭和11年頃	紙本・淡彩・軸装	46.5×60.7	
25	小六月 <small>ころくがつ</small>	昭和12年	紙本・彩色・軸装	62.9×84.6	
26	湖上迷樹 <small>こぼうえいじゆ</small>	昭和12年	紙本・墨画・軸装	85×120	
27	涼氣流 <small>りょうきながる</small>	昭和12年	紙本・淡彩・軸装	45.8×65.3	
28	虎溪三笑 <small>こけいさんしやう</small>	昭和12年	紙本・淡彩・軸装	148×45.3	
29	ほにほろ	昭和12年	紙本・淡彩・軸装	20.6×52.6	
30	引舟	昭和12年	紙本・淡彩・軸装	20.4×53	
31	早夏人馬之野	昭和12年頃	紙本・淡彩・軸装	44.2×59	
〈その他〉					
・芋銭翁(一色五郎作)昭和24年ブロンズ					
・小川芋銭絵付磁器(五代清水六兵衛作陶)4点 寄託					

## 第2回所蔵品展 異国の情景－旅の情趣を描く 平成19年9月7日(金)～10月21日(日)

近代以降、画家と旅とは深い関わりがある。画家たちは、作品の新たなモチーフを求め、またはもっと別の何かを探すため、しばしば日常を離れて見知らぬ土地へ旅に出る。

明治以来、洋画家は西洋絵画の本場への憧憬を胸にフランスやイタリアなどに留学して熱心に学び、一方日本画家も中国やインドなどへ取材に赴くなどし、外国で見聞きする貴重な体験を制作の滋養としてきた。

戦後、海外渡航が容易かつ一般的になると、さらに多くの画家が様々な国や地域へ足を運ぶようになった。そして、旅の内容が多彩になるにつれ、異国に題材を求めた作品世界も豊かな広がりを見せていく。

本展覧会は、画家と旅との多様な関わりの中から生み出された日本画、油彩、水彩作品30点を紹介した。

### ●出品目録

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	備考
＜日本画＞							
1	平岩 長四郎	1902-1987	ペルーの市場	昭和53年	紙本・彩色・額装	183×151	
2	加倉井 和夫	1919-1995	ギリシャ回想	昭和53年	紙本・彩色・額装	116×73	
3	川崎 春彦	1929-	ネス湖	昭和60年	紙本・彩色・額装	225×163	作者寄贈
4	倉島 重友	1944-	川風	平成13年	紙本・彩色・額装	215×170	第7回天心記念茨城賞
5	高橋 秀年 <small>ひでとし</small>	1953-	清夜	平成11年	紙本・彩色・額装	224.5×179.5	第5回天心記念茨城賞
6	川崎 麻児 <small>あさこ</small>	1959-	廻廊にて	平成12年	紙本・彩色・額装	180×180	作者寄贈
7	岡田 眞治	1962-	冬のベネチア	平成15年	紙本・彩色・額装	215×170	第9回天心記念茨城賞
＜油彩＞							
8	藤島 武二	1867-1943	ボンベイの廃墟	明治41年頃	油彩・板	26×35	
9	吉田 博	1876-1950	ヨセミテの谷	大正13年	油彩・麻布	80×61	
10	児島 虎次郎	1881-1929	ストックホルム	大正11年	油彩・麻布	57.5×67.5	
11	安井 曾太郎	1888-1955	フランス風景	明治44年～大正元年	油彩・麻布	50×60.6	
12	原 勝郎	1889-1966	風景(イル・ド・フランス)	昭和10年	油彩・麻布	60×72	
13	平賀 亀祐 <small>かめすけ</small>	1889-1971	キオヅジャ(ヴェネツィア)	昭和41年	油彩・麻布	63.5×52.5	
14	福田 義之助 <small>よしのすけ</small>	1890-1959	南仏風景	昭和3年	油彩・麻布	88×115	
15	栗原 信	1894-1966	ユーカーリ並木(ビルマ)	昭和29年	油彩・麻布	116×72	栗原ヤヘ氏寄贈
16	高畠 達四郎	1895-1976	ヴィンチ村	昭和49年	油彩・麻布	53×73	
17	鈴木 良三	1898-1996	カーニュー郊外	昭和4年	油彩・麻布	60.5×73	
18	鳥海 青児 <small>あおい</small>	1902-1972	闘牛	昭和7年	油彩・麻布	97×181	
19	三岸 節子	1905-1999	エッフェル塔	昭和60年	油彩・麻布	110×110	
20	山口 薫	1907-1968	カッシス風景	昭和8年	油彩・麻布	65.1×80.3	
21	榎戸 庄衛 <small>えのきど</small>	1908-1994	九龍壁(北京)	昭和18年	油彩・麻布	89.5×116	
22	角 浩 <small>かど</small>	1909-1994	夜のカーニバル(リオ)	昭和57年	油彩・麻布	194×259	
23	利根山 光人 <small>こうじん</small>	1921-1994	ビバ・メヒコ	昭和55年	油彩・麻布	132×195	
＜水彩＞							
24	藤島 武二	1867-1943	上海風景	昭和13年	水彩・紙	34×26	
25	石井 柏亭 <small>はくてい</small>	1882-1958	風呂のこわれ(トルコ風呂)	明治44年	水彩・紙	27.3×35	
26	安井 曾太郎	1888-1955	北京風景	昭和19年	水彩・紙	26×35	
27	中西 利雄	1900-1948	ノートルダム寺院	昭和5年	水彩・紙	54.7×70	
28	小堀 進	1904-1975	城壁と民家	昭和37年	水彩・紙	85.5×122.5	小堀昭氏寄贈
29	三橋 兄弟治 <small>みつはし</small>	1911-1996	モンテフリオの古城	昭和51年	水彩・紙	107×147.5	作者寄贈
30	鈴木 信男	1928-	拱門 <small>きゆうもん</small>	平成6年	水彩・麻布	193.9×130.3	作者寄贈

## 第3回所蔵品展 日本美術院の画家たち－20世紀の日本画 平成19年12月13日(木)～12月24日(月・振)

20世紀の日本は急激な西洋化と近代化に伴い、社会の仕組みや人々の意識が大きく変化した時代。このような時代の変化とともに日本画もその時々の美意識や価値観を反映するとともに、西洋絵画の影響も受けながら近代絵画として洗練された多彩な作品を生み出してきた。

明治31年(1898)に岡倉天心らによって創設された日本美術院(院展)は、明治39年(1906)の五浦移転、大正3年(1914)の横山大観らによる再興などを経て現在まで、20世紀の日本画の歴史とともに歩んできた。また、院展の画家たちは、天心の遺志を受け継ぎ、個性を尊重した自由な制作を求めて研鑽を重ね、日本画の発展に大きく寄与してきた。

本展では、横山大観、下村観山ら日本美術院創立時のメンバーから、現在活躍中の画家までの作品28点を展示し、明治から平成に至る日本画の変遷と多様化を紹介した。

## ●出品目録

No.	作者名(生年順)	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	備考
1	小川 芋銭	1868-1938	浮動する山岳	昭和3年	絹本・墨画・軸装	94.8×121	寄託
2	横山 大観	1868-1958	月満山	昭和12年	紙本・墨画・軸装	65.4×99.3	
3	西郷 孤月	1873-1912	怒濤、瀑布	明治33年頃	絹本・彩色・軸装(対幅)	各116.2×50.3	
4	下村 観山	1873-1930	雨中鷺	明治41年頃	紙本・墨画・軸装	70×121.3	
5	木村 武山	1876-1942	日月秋冬	大正期	絹本・彩色・軸装(対幅)	各129×40.1	檜座一臣氏寄贈
6	今村 紫紅	1880-1916	海辺図	明治44年頃	絹本・彩色・軸装	96.3×35.6	
7	小杉 放庵	1881-1964	老子	昭和30年代	紙本・墨画淡彩・軸装	45.6×51.3	
8	小林 古径	1883-1957	少女	大正13年頃	絹本・彩色・軸装	123×42	
9	安田 靉彦	1884-1978	羅浮仙	昭和10年頃	絹本・彩色・軸装	129.5×50.8	
10	前田 青邨	1885-1977	住吉詣	大正4年	絹本・彩色・軸装	116×50.3	
11	小茂田 青樹	1891-1933	山茶花	昭和6年頃	紙本・彩色・軸装	112.2×31.7	
12	速水 御舟	1894-1935	洛外六題 宇治	大正6年	紙本・彩色・額装	42×100	
13	清原 齊	1896-1956	宵	昭和30年	紙本・彩色・額装	230.3×194.5	
14	太田 聰雨	1896-1958	西郷南州と橋本景岳	昭和18年頃	紙本・彩色・額装	139×176	
15	酒井 三良	1897-1969	汀	昭和36年	紙本・彩色・額装	103×133	
16	小松 均	1902-1989	牡丹	昭和21年	紙本・彩色・額装	282.5×214.5	
17	羽石 光志	1903-1988	宇治川	昭和39年	紙本・彩色・額装	200.2×242.4	寄託
18	那波多目 煌星	1905-1989	化身	昭和50年	紙本・彩色・額装	222×162	作者寄贈
19	高崎 興	1908-1985	浄心	昭和58年	紙本・彩色・額装	227×182	高崎興一氏寄贈
20	田中 嘉三	1909-1967	仏弟子	昭和38年	紙本・彩色・額装	180×226	
21	吉田 善彦	1912-2001	浅間月明	昭和53年	紙本・彩色・額装	162.1×130.3	寄託
22	森田 曠平	1916-1994	波止場	平成6年	紙本・彩色・額装	89.2×40.7	森田貞子氏寄贈
23	鎌倉 秀雄	1930-	籠	平成10年	紙本・彩色・額装	180.3×226.5	作者寄贈
24	那波多目 功一	1933-	廢園	昭和58年	紙本・彩色・額装	160×112	
25	小谷津 雅美	1933-	終宴	平成10年	紙本・彩色・額装	218.5×173.5	第4回天心記念茨城賞
26	川瀬 鷹士	1941-	山	平成9年	紙本・彩色・額装	175×222	第3回天心記念茨城賞
27	田淵 俊夫	1941-	湖東	昭和51年	紙本・彩色・額装	129×161	寄託
28	菊川 三織子	1944-	花影	平成7年	紙本・彩色・額装	210×168	第1回天心記念茨城賞

## 第4回所蔵品展 ザ・屏風絵展 平成19年2月16日(土)～3月30日(日)

中国から伝わった屏風は、古くは奈良時代の正倉院に遺品として残されており、当時は宮廷の調度として用いられたり、儀式の折に特別な役割を果たすなどしてきた。平安時代には屏風の一扇一扇に絵を描いていたが、中世になると紙の蝶番が工夫され、屏風全体に連続して絵を描けるようになる。これが日本独特の屏風の形式となった。その後、花鳥画や山水画、風俗画などが時代と共に多彩に描かれ、重要な装飾家具の一つとして発展してゆく。近代以降は、新たに生まれた展覧会という場において、ダイナミックで装飾性豊かな作品などが、大画面から得られる効果的な表現を追求した発表形態の一つとしても描かれるようになる。

本展では、下村観山、菱田春草、木村武山をはじめ、森田曠平、西村昭二郎など、近・現代の画家が描いた屏風絵19点を展示し、その魅力を紹介した。

### ●出品目録

No.	作者名(生年順)	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	備考
1	下村 観山	1873-1930	老松	大正5年頃	紙本・彩色・屏風六曲一双	各168×370.2	
2	菱田 春草	1874-1911	猫に鳥	明治43年	紙本・金地彩色・屏風二曲一双	各162×162	
3	木村 武山	1876-1942	イソップ物語	大正元年～2年	絹本・金地彩色・屏風二曲一双	各169×182	
4	森田 恒友	1881-1933	海辺風景	大正期	布・金地彩色・屏風二曲一隻	148.5×178.2	
5	小杉 未醒	1881-1964	田家訪客	大正10年頃	紙本・彩色・屏風二曲一隻	119.4×112.8	
6	永井 久晴	1875-1944	横笛	不詳	紙本・彩色・屏風二曲一隻	166×166	五味美里氏寄贈
7	永田 春水	1889-1970	萬年孔雀図	昭和12年頃	絹本・金地彩色・屏風二曲一双	各171×172	
8	小野 竹喬	1889-1977	武陵桃源	大正7年頃	絹本・彩色・屏風六曲一双	各164×373.5	
9	鴨下 晁湖	1890-1967	踊る	昭和初期	紙本・彩色・屏風二曲一隻	153×158.5	寄託
10	児玉 希望	1898-1971	林檎花	大正15年	絹本・屏風二曲一隻	197×210	
11	羽石 光志	1903-1988	閑日	昭和21年	紙本・彩色・屏風三曲一隻	162.6×230	寄託
12	時田 直善	1907-2000	早苗船	昭和23年	紙本・彩色・屏風二曲一双	各180.4×185.5	時田幸彦氏寄贈
13	杉山 寧	1909-1993	秋意	昭和12年	紙本・彩色・屏風四曲一隻	218×302	
14	森田 曠平	1916-1994	八丈のめならべ達	昭和34年	紙本・彩色・屏風四曲一隻	175.9×305.7	森田貞子氏寄贈
15	佐藤 多持	1919-2004	水芭蕉曼陀羅白・103	平成元年	紙本・彩色・屏風四曲一隻	163×364	作者寄贈
16	加倉井 和夫	1919-1995	巖松	平成4年	紙本・彩色・屏風二曲一隻	171.5×168	寄託
17	加倉井 和夫		簗	平成4年	紙本・彩色・屏風二曲一隻	171.5×168	寄託
18	加倉井 和夫		白梅	平成4年	紙本・彩色・屏風二曲一隻	171.5×168	寄託
19	西村 昭二郎	1927-1999	夕風・夏柳	昭和52,53年	紙本・彩色・屏風四曲一双	各167×227	西村淑子氏寄贈

## 3 岡倉天心記念室

### (1) 五浦の作家たちの作品展示

茨城県近代美術館等が所蔵する横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山ら五浦の作家たちの作品を選び、年6回の展示をした。

### ●会期及び出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	備考
第1回 平成19年5月1日(月)～6月30日(土)						
1	横山 大観	釈迦	明治40年頃	絹本・彩色・軸装	117.2×50.4	寄託
2	横山 大観	月明	昭和6年頃	絹本・彩色・軸装	136.6×41.7	
3	横山 大観	水國の夜	明治44年頃	絹本・彩色・軸装	157×86	
4	木村 武山	菅公太宰府配處之図	明治末期	絹本・彩色・軸装	111×41	
5	木村 武山	不動明王(模写)	昭和2年頃	紙本・彩色・軸装	134.2×74.1	寄託
第2回 平成19年7月1日(日)～8月31日(金) 特別展示 旧サースビー・コレクション(天心の作品)						
1	岡倉 天心	海辺の松	明治37年	絹本・彩色・額装	49.4×87.9	寄託
2	岡倉 天心	ロバと人物	明治37年	絹本・彩色・額装	49×86.3	寄託
3	岡倉 天心	山水の図	明治37年	絹本・墨画・額装	80.7×27.4	寄託
4	岡倉 天心	竹の図	明治37年	絹本・彩色・額装	91.6×24	寄託
5	岡倉 天心	日の出(画賛)	明治37年	絹本・彩色・額装	63.3×46.7	寄託

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	備考
6	岡倉 天心	月(画賛)	明治37年	絹本・彩色・額装	48.5×35.8	寄託
7	岡倉 天心	玉蓮	不詳	紙本・墨画・額装	25×35	寄託

第3回 平成19年9月1日(土)～10月31日(水)

1	横山 大観	朝顔日記	明治33年頃	絹本・彩色・軸装	123×50	
2	横山 大観	樹下美人	明治45年頃	絹本・彩色・軸装	123×51	
3	下村 観山	納涼図	明治42年頃	絹本・彩色・軸装	84×50	
4	菱田 春草	林和靖	明治41年	絹本・彩色・軸装	116×50.3	
5	木村 武山	小楠公	明治36年頃	紙本・彩色・軸装	140.3×64.8	

第4回 平成19年11月1日(木)～12月27日(木)

1	横山 大観	秋の夕	明治35年	絹本・彩色・軸装(対幅)	121.7×50.5	
2	菱田 春草	菊慈童	明治34年	絹本・彩色・軸装	120×49.8	
3	菱田 春草	春の朝	明治35年	絹本・彩色・軸装(対幅)	122×50.8	
4	菱田 春草	落葉	明治42年	絹本・彩色・屏風二曲一双	152.8×151.8	開発公社寄贈

第5回 平成20年1月2日(水)～2月29日(金)

1	横山 大観	岩礁の瀧	明治37～38年	絹本・彩色・額装	49.9×87.6	寄託
2	横山 大観	松月雪景	明治37～38年	絹本・彩色・額装	87.5×50	寄託
3	横山 大観	風雪に鷺	明治37～38年	絹本・墨画彩色・額装	87.1×49.8	寄託
4	横山 大観	雪影	明治37～38年	絹本・彩色・額装	77.1×53.8	寄託
5	下村 観山	帰鯨の図	明治37年	絹本・彩色・額装	79.7×48.9	寄託
6	菱田 春草	帰漁	明治37年	絹本・墨画・軸装	49×73	

第6回 平成20年3月1日(土)～4月30日(水)

1	横山 大観	鹿島神宮	昭和3年	絹本・淡彩・軸装(対幅)	149×57	
2	横山 大観	筑波山	昭和3年	絹本・淡彩・軸装(対幅)	149×57	
3	下村 観山	日の出・雪梅	明治41年頃	絹本・彩色・軸装(対幅)	各108.5×41	
4	木村 武山	義家勿来関	明治40年頃	絹本・彩色・軸装	120.3×50.7	寄託
5	木村 武山	貴紳観桜図	明治33～34年頃	絹本・彩色・軸装	120×50	寄託

## (2) 資料テーマ展示

・テーマ名「新資料紹介」

期 間 平成19年度3月31日(土)～9月30日(日)

内 容 今回のテーマ展示は、「新資料紹介」と題して、平成18年度に新しく収集された資料2点を紹介した。紹介する資料2点はいずれも岡倉天心直筆の書簡で、どちらも初公開資料。1点は、明治の政治家、佐野常民(さの・つねたみ)宛の書簡で、天心の初めての外遊である欧米視察についての記載があり、この視察に常民が何らかのかかわりを持っていたことを示唆する貴重な資料である。これは、これまで存在は知られていたが、公開されるのは初めてのこととなった。もう1点は、歴史、国語学の権威で、東京美術学校開校時の教師黒川真頼(くろかわ・まより)宛の書簡で、同校への辞令が下ったその日の日付で書かれたもの。東京美術学校開校にあたって中心的役割を果たした天心の当時の動静がうかがえる珍しい資料である。

展示資料 「佐野常民宛天心書簡(明治19年9月24日付)」封書[封筒ナシ],16.5×84.2cm

「黒川真頼宛天心書簡(明治21年10月16日付)」封筒[封筒付き],17.0×55.5cm(封筒21.5×7.7cm)[新発見資料]

・テーマ名「天心と安田靫彦」

期 間 平成19年10月2日(火)～平成20年3月30日(日)

内 容 日本美術院の五浦時代、横山大観、菱田春草ら4人の画家は、この地に住み、研さんを積んだが、彼ら以外にも五浦を訪れ、天心の薫陶を受けた作家も少なからずあった。その筆頭にあげられるのが、安田靫彦(やすだ・ゆきひこ)である。靫彦は、明治40年(1907)年の五浦仲秋観月会にも参加し、その後、4人の先輩の、修行僧のように研さんする姿に間近に接し、大いなる刺激を与えられたのである。そして、天心も靫彦をたいへん目につけ、援助してゆくことになる。

そんな靫彦に対する2通の天心自筆書簡を紹介することにより、彼らの心の交流と、当時の天心の心情を読み取ることができた。

展示資料 「安田靫彦宛天心書簡(明治42年5月21日付)」紙本・墨書・軸装[封筒ナシ],17.0×32.5cm(軸寸93.5×41.0cm),安田建一氏寄贈

「安田靫彦宛天心書簡(明治44年12月31日付)」紙本・墨書・軸装[封書ナシ],16.5×49.5cm(軸寸96.5×57.0cm),安田建一氏寄贈